

北海道ライフル射撃協会との協定締結についての報告

2024 年 12 月 7 日

2024 年度幹事長 赤坂美穂

1. 経緯

学連北海道支部では現在、試合で使用するビームライフルを宮の沢屋内競技場からお借りしている。競技場では備品として 3 丁を所有しているが、うち 1 丁は旧式であり据銃姿勢をとることが難しい。そのため、学連試合では競技場備品である新型ライフル 2 丁に加え、学連北海道支部とも交流のある北海道ライフル射撃協会（以下：道ラ）所有の 1 丁をお借りし、計 3 丁を用いてきた。

今年度、道ラが所有しているビームライフルを更新し、アルミストックの銃が新たに導入された。これに伴い、施設でも利用が大幅に制限された。これは、過去に通常の利用での破損や故障が多かったため、購入した機材を長持ちさせるためと考えられる。以前、施設の銃も一般利用後に破損して返却されることが続いたため、認定制度を作って貸し出しカードによる運用になったが、今回も同様の理由である。ただ異なる点として、こちらは道ラが会員からの会費によって購入した銃なので、会員ではない学連が優先して使用することはできなかった。

この状況では学連の大会や練習会でも施設の備品 2 丁での運用となるが、特に試合では 3 丁使用できないと運営に支障をきたすと考えた。そこで、支部長の和泉さんからのご助言のもと、道ラと協定を結ぶ形で新型の銃を使わせていただけることになった。

2. 目的

本協定は、学連が大会や練習会等においてビームライフルの使用が必要となった際に、道ラが所有するビームライフルを使用することを認めるものである。

3. 使用条件等

- (1) 学連が使用する際には、学連役員の中から責任者をあらかじめ定め、責任者の管理の下で使用する。特に、競技経験が浅い学生が使用する際には上級生が常に監視を行う。
- (2) 使用を希望する際には、あらかじめ使用日時、使用目的、使用時の責任者について、学連代表者から道ラへ事前の報告を行い確認を得るとともに、使用後においても問題なく返却が行われたか事後の報告をする。
- (3) 使用できるのは学連が運営する練習会、競技大会とし、個人の練習では使用を禁止

する。

(4) 学連が、故意又は過失により破損、故障等を発生させた際は、学連が賠償、修理対応等を行う。

4. 備考

- ・ 今後の道ウの動向にもよるが、協定の更新等の予定は現時点では無い。
- ・ 競技場からビームライフルを借りる際は引き続き、取り扱い講習を受け施設から発行される修了書を提示する必要がある。
- ・ 参考として、実際に交わした協定書を支部総会資料に含めている。